

Volunteer network

主任神父様・信徒会長様・教区ボランティア・ネットワークの皆様



2011年 平和旬間・講演会・平和祈念ミサ
「知らぬ間にできる差別の仕組み」

平和ミッション Peace Mission

7月31日 平和講演（講演記録は別刷り）

新潟教会を会場に、講演会と平和祈念ミサが行われました。講師は昨年に引き続き、シャルル・ド・ブーコーの「福音の小さい兄弟会」の太田 勝 神父さん。和歌山で活動中です。

講演を聞きながら、神父さんの昨年の自己紹介を思い出しました。「社会の、なるべく下積みの立場で生きていくことによって、お湯が沸くみたいに、下に火がついていると、水も上の方まで温かくなっていく、社会の中の「対流効果」・・・そういう生き方を目指している」と。人間が人間らしく生きられる社会を目指し、小さい一粒の麦として地道に働く太田神父さん。いぶし銀の味わいです。

プロテスタントの方も一緒に

平和祈念ミサのあと、手作りケーキやお茶をいただきながら、原発など「旬」の話題が熱く続きました。そんな中、やはり、出ました。どっちが上座？謙遜は大事ですが、ほどほどにして、「キリストを囲む食卓」、兄弟姉妹のかかわり、実現したいです。

先達に学ぶ・引き継ぐ・歩む

斎藤文一さん、谷沢文雄さんがご夫妻で参加なさいました。ひたむきに、真の平和を願い続けてこられた方たちです。感謝と同時に、将来を真剣に考えなければと痛感しました。3.11 を経験した今は、もう足踏みも、後戻りもできません。(K)
(講演記録ご希望の方は下記へご連絡ください。)

平和のための祈り 2011（抜粋）

いのちの源である神よ、

いまだに世界には数多くの核兵器が存在しています。

また日本は今、地震・津波・原発事故という苦難の中にあります。

人間の限界を忘れて、核エネルギーに頼ろうとしてきた態度が

根本から問い直される時を迎えています。

今こそ、真の意味での平和と安全を求めて祈ります。

— 戦争は人間のしわざです。戦争は人間の生命の破壊です。戦争は死です。

— 過去をふり返ることは将来に対する責任を担うことです。

— 主がすべての人間の心の中に、

平和の知恵と正義の力と兄弟愛の喜びを注いでくださいますように。

— 神よ、この世にあなたの終わりなき平和をお与えください。アーメン。

（祈り・イラスト 東京教区 平和旬間委員会）

